

## アスベスト除去工事現場からのアスベストの飛散について

下記の工事現場においてアスベスト濃度を測定したところ、アスベストの飛散が確認されましたのでお知らせします。

なお、大気汚染防止法に基づく特定粉じん（アスベスト）排出等作業実施届出書が提出された工事現場における作業基準の遵守状況を確認するため、環境局が工事現場のアスベスト濃度を測定しています。

## 1 工事現場の概要

|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 工事の名称 | 六番町駅換気機械室石綿含有吹付け材撤去工事               |
| 工事の場所 | 名古屋市熱田区 六番町駅 機械室内                   |
| 作業期間  | 平成 25 年 12 月 12 日～平成 25 年 12 月 13 日 |
| 工事発注者 | 名古屋市交通局                             |
| 工事施工者 | ライフテック・エム株式会社                       |

## 2 測定結果

単位:本/リットル

| 試料<br>採取日                   | 採取場所            | 総繊維数<br>濃度 | アスベスト<br>繊維数濃度 | 内 訳        |           |             |     |
|-----------------------------|-----------------|------------|----------------|------------|-----------|-------------|-----|
|                             |                 |            |                | クリソ<br>タイル | アモサ<br>イト | クロシド<br>ライト | その他 |
| 平成 25 年<br>12 月 12 日<br>(木) | 機械室前<br>(駅構内)   | 1,000      | 710            | 0          | 0         | 710         | 0   |
|                             | 排気口<br>(地上歩道付近) | 4          | 2.5            | 0          | 0         | 2.5         | 0   |

注 法によるアスベスト除去工事の濃度基準はありません。WHO 環境保健クライテリアでは「都市における大気中の石綿濃度は、一般に 1～10 本/リットルであり、一般環境においては、一般住民への石綿曝露による中皮腫及び肺がんのリスクは、検出できないほど低い。」としています。(環境省平成 24 年度アスベスト大気濃度調査結果より引用)

### 3 対応

本日（13日）、機械室前コンコースのアスベスト繊維数濃度が710本と判明しました。

南西部公害対策担当（港保健所）が直ちに工事施工者に対して工事の停止と原因究明及び改善対策を実施するよう文書で指導し、工事施工者は直ちに工事を停止しました。

現在交通局では、機械室の空気がコンコースに流出しないように機械室扉の目張りをしました。また、機械室付近への立ち入りを制限しています。そのため、ホームとコンコース間のエレベーターの利用ができなくなっています。

（別紙参照）

なお、駅構内の総繊維数濃度を改めて測定中です。

### 4 お問い合わせ連絡先

平日の9時00分～17時00分に下記の電話番号にお問い合わせください。

名古屋市交通局 技術本部施設部 営繕課 営繕係

TEL：(052) 972-3897

<参考> アスベストの種類について

- ・クリソタイル（白石綿）

ほとんどすべての石綿製品の原料として使用されてきた。世界で使われた石綿の9割以上を占める。

- ・クロシドライト（青石綿）、アモサイト（茶石綿）

吹付け石綿として使用されていた。他に青石綿は石綿セメント高圧管、茶石綿は各種断熱保温材に使われてきた。

（独立行政法人環境再生保全機構「石綿と健康被害」より引用）

地下鉄名港線 六番町駅

別紙

